

31053 地域看護活動方法論Ⅲ a、b Theory of Community Nursing Methodology Ⅲ		3 年次～ 前期 2 単位	
担当者	柳澤 尚代／齋藤 澄子／浦橋 久美子	履修可能学科	N 必
		関 連 資 格	保健(N)
サブタイトル	特定の健康課題をもつ人々への地域看護活動を学ぶ		
授業内容 ・ ねらい	地域看護活動は、地域で生活する人々の特性や場の特徴をとらえながら行われます。看護職は看護の知識・技術を基盤として、対象や場にに応じた施策・制度を根拠として活動を展開します。ここでは以下のことをねらいとして授業を進めます。 1) 地域で生活するさまざまなライフステージの特性と看護活動、健康課題別の保健福祉サービスの諸制度を理解し、個人/家族・集団の自立と地域のQOLを高めるための支援活動を理解する。 2) 地域で生活している主に疾病や障害を持つ人とその家族を対象にした看護活動のための知識・技術・態度を理解する。 3) 地域で生活する人々の生活支援にあたり、社会資源の開発は看護活動にとり重要である。演習を通して、患者会およびセルフヘルプグループの活動の実際を理解する。		
授業計画	1. ライフサイクルと地域看護 2. 次世代を育むための援助 (1) 3. 次世代を育むための援助 (2) 4. 次世代を育むための援助 (3) 5. 健康の保持増進と健康障害の予防に向けた支援(1) 6. 健康の保持増進と健康障害の予防に向けた支援(2) 7. 健康の保持増進と健康障害の予防に向けた支援(3) 8. 慢性疾患をもつ人々への支援 (1) 9. 慢性疾患をもつ人々への支援 (2) 10. 慢性疾患をもつ人々への支援 (3) 11. 健康の危機的状況にある人への支援 (1) 12. 健康の危機的状況にある人への支援 (2) 13. 健康の危機的状況にある人への支援 (3) 14. 健康の危機的状況にある人への支援 (4) 15. 高齢期にある人の健康生活の援助課題の判断と支援 (1) 16. 高齢期にある人の健康生活の援助課題の判断と支援 (2) 17. 高齢期にある人の健康生活の援助課題の判断と支援 (3) 18. 高齢期にある人の健康生活の援助課題の判断と支援 (4) 19. 高齢期にある人の健康生活の援助課題の判断と支援 (5) 20. 高齢期にある人の健康生活の援助課題の判断と支援 (6) 21. 社会資源の開発と実際～患者会 (1) 22. 演習1：患者会 (1) 23. 演習1：患者会 (2) 24. 演習報告会 25. 社会資源の開発と実際～セルフ・ヘルプ・グループ (2) 26. 演習2：セルフ・ヘルプ・グループ (1) 27. 演習2：セルフ・ヘルプ・グループ (2) 28. 演習報告会		
教科書 参考書	教) ①『看護系標準教科書 地域看護学ⅠⅡ』(Ohmsha)、②『在宅看護論～実践を言葉に』(メヂカルフレンド社) 参) 国民衛生の動向		
評価方法	筆記試験、レポート、演習状況や提出記録などにより総合的に評価する。		
事前準備学習 履修条件等	地域看護実習Ⅰ(在宅看護)、地域看護実習Ⅱ(公衆衛生看護)につながる科目です。		